



第38回

日本足の外科学会・学術集会

The 38th Annual Meeting of the Japanese Society for Surgery of the Foot



ハンズオンセミナー 5

『MODE Distal Tibia Plateと オスフェリオンを用いた低位脛骨骨切り術』

講師：原口 直樹 先生 東京警察病院 整形外科 副部長

【セミナー内容】

中期の変形性足関節症に対しては、低位脛骨骨切り術は信頼できる手術方法です。
本セミナーでは、荷重軸と変形のタイプによる骨切りの指標の取り方・骨切りのポイントと併せて、
骨補填材料の形成方法と日本人の解剖に合わせてデザインされた新たなロッキングプレート
MODE DTPによる適切な固定手技についてご説明いたします。

日時：2013年10月31日(木) 14:40～16:20 (開場 14:10)

場所：仙台国際センター 1階 小会議室 1

定員：25名 (お申し込み先着順)

参加費：2,000円

日整会教育研修単位： [2] 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
[12] 膝・足関節・足疾患

※.単位申請費が別途 1,000円 必要になります。



申込方法： 下記URLより、お申込みください。
お申込み後、受付メールのご案内に沿って参加費をお振込みください。
URL：<http://www.jmdm.co.jp/seminar>

お問い合わせ先： 株式会社 日本エム・ディ・エム
マーケティング部 トラウマ製品課 担当：鈴木 哲也
TEL：03-3341-6553 e-mail：m-seminar@jmdm.co.jp

共催：第38回 日本足の外科学会・学術集会 / 株式会社 日本エム・ディ・エム